

たんぽぽ通信 No.126

発行日：2006年9月21日
発行者：たんぽぽ共同作業所
施設長 藤田 安
住 所：磐田市福田中島 138
TEL：0538-58-1541
E-mail：tanpopo-kyodo@ny.tokai.or.jp



家族教室 自立支援法で何が変わる？

第2回：地域の福祉サービスはどんな形に？（9月14日、参加者：26名）

1. 自立支援法に基づく新制度に移行するためには、運営主体が法人格を持っていることが必要。現在の運営主体は家族会だが、NPO 法人「ひつじの会」に運営を任せる方向で調整を進めている。「ひつじの会」は多機能な事業を実施しようと計画している。
2. 現在、たんぽぽ作業所が実施している事業を新制度で選択するとしたら、憩いの場や軽作業の場を提供する「地域活動支援センター」を選べる。もう少し、ハードルを上げると「就労継続支援事業・非雇用型」を選択することになる。
3. 「地域活動支援センター」と「就労継続支援事業・非雇用型」の比較
 - ① 地域活動支援センターは市が実施する事業。利用料や事業内容は市が決める。施設長1名、指導員1名が必要。
 - ② 「就労継続支援事業・非雇用型」は国の制度。利用料は1割負担。（1日460円。）目標工賃は最低賃金の1/3。（静岡県の場合、時給226円）
4. 参加者の声
 - 事業者によりサービスに差が出るのではないかな？
 - 利用者の出席日数により、収入が左右され、提供サービスが不安定になるのではないかな？

バザー品を寄付

していただけませんか？

タオルや石けん、乾物はもちろんのこと、古着でも結構です。10/29 磐田、11/5 竜洋、11/11 静岡産業大学、11/19 福田のイベントでの販売を予定しています。

避難訓練

9月1日、防災の日。天気はどしゃぶりですが、予定通り、訓練実施。サイレンとともに全員でヘルメットをかぶり、避難先である近くの小学校まで避難しました。

民生委員と交流 バーベキュー大会

(8/31、たんぽぽにて、参加者 19名)



- 準備で野菜を切ったりしたが、久しぶりにやったので、けっこう手間がかかった。炭で火を起こすのも、うちわで扇いで大変だった。肉と野菜とおにぎりとスイカとジュースを飲んだが、外で食べたので気持ち良かった。また、機会があったら、やりたいです。(Hide)
- 毎日、外で食事を取ることがなく、皆と仲良く食べて楽しかったです。(M)
- 欲が深いのか、一番で行ったせいか、ピーマンをいく切れも食べ、肉を食べる前にお腹いっぱい!ちくちょう!!! (M)
- 久しぶりにごはん炊きをし、おにぎりを作りました。20個くらい。なんでも経験することは勉強になると思いました。(A)
- 歯が悪いので肉は食べませんでした。焼きそば作りをして食べました。(澄)
- 焼きそば係でしたが、何もできなくてごめんなさい。(高)



何かいいことしよう会・西部地区

ボーリング大会

(9月5日、
掛川・毎日ボウル)

- 短時間で勝負すると思うと、ガーターが続き、いけないなと思い、考えることがいくつも出てきて、自分がいかにも小さなものだと思った。(M)
- 一投目でストライクが出てうれしかった。
- 大会なのに、レーンの人たちと手取り教えてあげてしまいました。でも、スコアは84でした。



まあまあ。大会はじまるまで緊張の連続でした。終わったら「こんなものか」と思ったら、少しは楽になりました。(E子)

福祉大学の実習生です

(9/6, 7)



2年ぶりのたんぽぽで懐かしかったです。水曜日は体操とソフトバレーに参加させていただきました。

前はラジオ体操だけでしたが、今回はエアロビとか筋トレの有酸素運動が長くて大変でした。えらかったけれど、笑顔で最後までできたのはみんなで作ったからだと思います。(大杉)